

東京教区時報

第1148号
2009年12月20日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇12月の代祷・信施奉献先
▽聖書の主日(降臨節第2主日
12・6)▽野宿生活者支援のため
▽世界エイズデー▽部落解放
キリスト者運動のため

時半Ⅱ聖餐式・聖書の学び(高
橋頭司祭)、26日第4火曜10時
半Ⅱ聖書の学び(関正勝司
祭)。会場Ⅱ井草地域区民セン
ター。照会Ⅱ03(3951)5
010・目白聖公会。

ちつき大会を企画している。
「訂正」12月6日付本紙の別
刷り特集号の発行年表記の一部
に誤記がありました。
【休業・休刊】教区事務所
休業Ⅱ12月25日、12月30日
1月6日。7日(木)より通常
業務。教区時報休刊Ⅱ年末27
日号、1月10日号。17日号よ
り再刊予定。

◇堅信受領
12月13日 主教座聖堂
▽梶原峻▽梶原真▽大畑真由美
▽吉田修平(聖アンデレ)▽小
倉正樹▽工藤伸一▽北郷義彰▽
北郷直子(真光)▽千ヶ崎祥平
▽金子佳弘▽藤岡沙良子(立教
諸聖徒)▽馬淵瑞希▽鳥光里恵
(聖・テロ)

今週・来週の予定 12月20日~1月10日

- | | |
|-------|--|
| 20(日) | 降臨節第4主日
主教巡回 池袋聖公会 |
| 22(火) | 銀座朝拝会
教区企画室 |
| 25(金) | 降誕日
主教巡回 東京聖三一教会
正義と平和協議会運営
委員会 |
| 27(日) | 降誕後第1主日 |
| 28(火) | 教役者会
月島準備室
主事会議 |
| 29(火) | 1月 |
| 1(金) | 主イエス命名の日 |
| 3(日) | 降誕後第2主日 |
| 6(水) | 顕現日 |
| 8(金) | 広報委員会
人権：日の丸君が代
エルサレム協働・準備会 |
| 9(土) | 顕現後第1主日・主イ
エス洗礼の日 |
| 10(日) | 主教巡回
小笠原聖ジョージ教会
(6-11日) |

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

聖餐式のクライマックスで、私たちはこ
う唱えます。《キリストは死に、キリスト
はよみがえり、キリストは再び来られま
す》。これは、私たちの信仰を簡潔に宣言
していることばですが、《キリストは生
き》ということ大前提にして
いる宣言です。

クリスマス—歴史の基点

主教 植田仁太郎

私たちはいわゆる、西暦紀元前、紀元
後という年数の数え方をします。言うま
でもなく、この歴史の区切り方は、キリ
スト教の信仰から生まれました。今では
単に便宜的に世界中で通用しているか
ら、そうしているだけだという方も
多いかも知れません。そうかも知れ
ませんが、イエス・キリストの誕生
が歴史の中心点であるという、信仰
の主張をこれほど良く表している普
遍的な慣習は無いでしょう。

この慣習がある限り、今、あらゆる
面で世俗化してしまったクリスマ
スのお祭りがすたれてしまっても、
イエス・キリストのこの歴史の中へ
の誕生の重大さを、想い起こさせて
くれる鍵になるでしょう。イエス・キリス
トの生から歴史上に放たれた光を、私たち
の人生の中で輝かせてゆきましょう。

(東京教区主教)

イエス・キリストがこの世
のいのちとして、ひとりの人
間として生きられたからこ
そ、この宣言が成り立ちま
す。イエス・キリストの、こ
の世界への、この歴史の中へ
の誕生は、歴史の基点となり
ました。その基点から過去へ
向って、同時にその基点から現在を越え
て未来にまで、光が放たれています。私
たちは、歴史の中に生きる全ての人は、
その光の中に居ます。

常置委員会報告(12月8日)

*明10年度教区フェスティバル開催を9月20日(月・休)と予定し、会場交渉など準備に入ることを確認した。

*主教選挙特別委員会からの諮問に関し、主教選挙のための教区会を7月19日(月・休)開催と仮決定した。

*月島聖公会底地の売買契約締結(12月1日)の報告を受理。

*月島聖公会・聖ルカ保育園将来計画準備室の報告を受け、今後の教区内説明会、臨時教区会開催など内容と分担につき継続協議することにした。

*12月末にて定年となる宣教主事に関し、1年を目処とした特務職員制の導入を検討した(継続審議)。

*教区諸委員会委員長ならびに常置委員会推薦委員の選任と、交渉中の報告を受けた。
*その他。 [書記]

▽神田キリスト教会(音楽とオーボエとパイプオルガン)クリスマスコンサート 23日(水・休) 15時。入場料2千円(全席自由)。予約・照会TEL03(3251)4981・会場教会。

▽第7回聖公会「手話」関係者の集い 東京では初めてとなる研修(1月10日14時半〜11日15時半・教区会館II冠婚葬祭シリーズ・通夜の祈り他)で、手話に関心のある方の参加を呼び掛けている。参加費6千円(宿泊は別途、幹旋可)。詳細は小野幸苑、TEL03(3480)87

02(至急連絡を!)。

▽神学院「公開」短期集中講座 主題「東北アジアの歴史的脈絡における聖公会神学の方法」、講師II李在禎司祭(大韓聖公会大学校教授・前大韓民国統一部長官)。1月20日(水)〜22日(金)。一般聴講は20日・21日の午前と午後の計4セッション、22日午前第5セッションは神学生・聖職者対象。申込締切りII1月12日(火)。時間・費用その他の詳細は同院宛に、TEL03(3701)0575。

▽神学院入学試験 聖公会神学院の明10年度入学試験は2月4日〜6日に行われ、そのための願書は1月29日(金)必着。詳細照会TEL03(3701)0575。

【クローズアップ】35

「日の丸・君が代」強制問題
に取り組む会による、超教派「祈りの会」

昨年11月、第107(定期)教区会で『「日の丸・君が代」強制の即時中止を求める声明文を採択し、各教会に伝えて祈る件』が決議されたが、その後、東京都、区の教育委員会や学校長に中止を求める要請を行う一方、各教派・教会の方々に呼びかけて祈りの会をもったり、署名活動を行ってきた。

11月28日、牛込聖バルナバ教会で開催された「第3回祈りの会」は、「信教の自由を求めて、キリスト者のつながりを」という副題のもとに、カトリックからホーリネスや無教会まで

各教派の信徒37名が集まり、祈りをささげ、岡田明さん(JECA 主都福音教会)、木村葉子さん(ウエスレアンホーリネス教団)、山口美紀さん(日本キリスト教団)から証しをうかがった。「教員としての強制による苦しみ」だけでなく、「キリスト者がこの問題に抵抗することの必然性という意見に励まされた」、「訴訟を通じた法廷でのクリスチャンとしての証言が神の与えた宣教の場であった」などの熱い体験談を聞くことができた。

その後の懇談会では「平和を実現するキリスト者ネット」の全国集会で、「強制の即時中止を求める要望書」を鳩山首相や東京都教育委員会宛に提出することが決議された旨の報告(村瀬俊夫牧師・

日本長老教会や、今後のキリスト者として各教派を超えた取り組みについて協議された。

2003年の東京都の10・23通達は無憲であるとの判決が2006年9月21日に東京地裁で出されたが、都は控訴するとともに公立学校における「日の丸・君が代」の強制や教師たちへの処分を依然として続けている。今回の祈りの会を通じて、キリスト者としてより一層、協働連携していくことの必要性が確認された。この問題に対する考え方は多様であるが、「強制だけは許されない!」という想いをもって今後とも取り組んでいきたい。

東京教区人権委員会「日の丸・君が代」強制問題に取り組む会
森田信也